

執筆者紹介

立命館大学教授	淡川 康一
立命館大学助教授	足立 政男
立命館大学専任講師	寺島 平
立命館大学専任講師	高尾 忠男
立命館大学助教授	関 弥三郎
立命館大学助手	浜崎 正規

立命館大学経済学会委員

井上 巖次郎
梯 明 秀
祭原 光太郎
高 橋 良 三
津ノ国 長四郎
関 弥 三 郎

編集後記

別項に掲げたように、第一回の経済学会総会を開催し、講演に、映画に、多彩な行事を繰りひろげた。社会見学は昨年にくらべて低調であったが、後期は研究会活動と並行して大いにやり度いものと、プランをねっている。

本誌も順調をとりもどした。日頃の研究成果がこうした形で世に問われることは、われわれ学問の道を歩むものにとつては何物にもかえがたい喜びである。本誌もそれぞれ力作ぞろいである。緑蔭のひと時を闊談に割愛されたい。

九州の水渦に対しては、月並な文句で揶揄しようもないほど驚かされた。これは単なる天災ではない。政治の貧困がこうした姿をとって露呈したものといえよう。被災地域の人人ならびに同地区に家郷をもたれる会員諸氏に心から御見舞を申しあげる次第である。

(T)

★毎々、機関誌を御恵投下さいまして洵にありがとうございます。交換誌の御送附先きは、必ず左記に願ひ上げます。念のため。

京都市上京区広小路通寺町東入ル
立命館大学経済学部研究室 宛

振替口座番号 京都二三〇六八番
京都市西陣局区内広小路寺町東入
立命館大学経済学会 宛

昭和二十八年六月二十日印刷
昭和二十八年六月二十五日発行

定価 百二十拾円

立命館経済学 第二巻・第三号

編集者 立命館大学経済学会

(高橋 良三)

印刷者 中村 勝 治

京都市上京区廣小路通寺町東入ル
立 命 館 大 学 内

発行所 立命館大学人文科学研究所

京都市下京区七條河所ノ内東町

印刷所 中村印刷株式会社

THE RITUMEIKAN ECONOMIC REVIEW

The Bi-monthly Journal of Ritumeikan University

Vol. II

June 1953

No. 3

CONTENTS

Treatises :

Kôiti Awakawa: The Economic Thoughts in Our Tokugawa
Era.(1)

Memoir :

Masao Adachi: A Research into the Collapse of the Feudal
System.....(24)

Hakuru Terashima: An Essay on the Valuation of Inventories.
.....(58)

Tadao Takao: An Essay on the Tax Accounting(80)

Lecture :

Yasabrô Seki: Random Sampling Method. (III).....(91)

Review :

Masaki Hamasaki: Innovation in the Capitalist Process,
by C. S. Solo.(116)

The Ritumeikan University Economic Society
KYOTO, JAPAN